若者よ目を覚ませ

未来は君たち若者のものだ
カネ狂いの大人たちの魔の手から奪い返せ
母なる地球の声なき声に心の耳を澄ましてみよ
新型コロナウイルスは地球防衛軍なのだ
君たち若者の味方なのだ
経済活動再生などに決して手を貸してはならない
天下無双のわが播磨屋本店が君たちの強力な後ろ盾だ
困ったら遠慮なく相談してこい
全力でサポートしてやる
最後に再度念を押しておく
カネ狂いの大人たちの甘言に断じて乗せられるべからず

播磨屋本店代表　播磨屋助次郎　謹言

日本一おかき処 播磨屋本店

播磨屋助次郎「救世論文シリーズ」全作品掲載

総合カタログ
2020. 7

トヨタ葬送

トヨタよさようなら GAFAよグッバイ

一、「覚者」播磨屋助次郎は全くの本気正気

非常にセンセーショナルなタイトルです。しかし、私播磨屋助次郎は大真面目です。ケレン味[注1]など微塵もありません。**タイトルだけ見て鼻で笑った人間は、次の中のいずれかです。「救世論文シリーズ」を全く読んだことがないか、読んだことはあっても表層だけしか読んでいないか、或いは全く無教養のバカ人間かです。**

トヨタとGAFA[注2]の五社首脳陣は言うに及ばず、このタイトルに少しでも心が騒いだ方は「救世論文シリーズ」のどれか一点でも精読してみてください。トヨタにもGAFAにも、未来など有り得ないことがよく分かりますから。

二、全ての全ては他人事ではなく完全に自分事

本章からは、拙著「救世論文シリーズ」の愛読者向けの論述になります。既にお分かりのように、**我々人類は今日、存続か滅亡かの最終的土壇場に立たされています。もちろんながらそれは、今般の新型コロナウイルス問題だけを取り上げての話ではありません。もっと深い総合的な意味合いにおいての話としてです。**

ということで今回は「救世論文シリーズ」全体を通して訴えてきた数々の問題点とその恐ろしさを、実在の巨大企業名を出すことによって、一層浮き彫りに出来るのではないかと考えて著述した、シリーズ最終論文です。全ての全ては他人事ではなく完全に自分事なのです。そのつもりで真剣に精読してください。

三、「神」[注3]には百万パーセント絶対に勝てない

人類（特にヨーロッパ人）は有史以来、数多くの死病と闘い続けてきました。また幾多の大戦争を繰り返してきました。今「人類滅亡」の土壇場に立ち尽くす我々は、それら全てが「自業自得」であったことを思い知らねばなりません。

そして今日、人類による「地球破壊」が、ついに「神」の温情の限界を越えようとしているのです。「覚者」を遣わし「地球防衛軍」を差し向けて、懸命に警告を発し続けてくれている「神」に、これ以上抗い続けるなら、最後の最後の真実恐るべき「自業自得」が待ち受けているだけのことなのです。

そのシナリオは二通りしかありません。一つは「神」の心にあらざる心「エゴ」の暴走が引き起こす最終戦争（第三次世界大戦）です。ただこの可能性は、それほど高くないはずです。「地球」へのダメージが大き過ぎるからです。

もう一つは、超強毒性で感染力が非常に強い「地球防衛軍」の出現です。いずれにしても「人類滅亡」は免れようがありません。くわばら。くわばら。

四、死ぬために頑張るのか生きるために頑張るのか

滅亡への土壇場に立たされている我々人類には、選択肢は二つだけしかありません。**「死」へと続く「金儲け競争」の道をこのまま歩み続けるのか。「生」へと続く「神ノ楽園」[注4]への新たな道を切り開いていくのか。**この二つだけしかです。

いずれを選択しても、待ち受けているのは尋常ではない大苦難です。途方もない頑張りが必要です。あなたはどちらを選びますか。いくら何でも、トヨタやGAFAでもアウトの道を選んだりはしませんでしょう。**どうせなら「生」へと続く「神ノ楽園」への道を、とことん頑張って切り開いていこうではありませんか。**

令和二年五月十五日　覚者 播磨屋助次郎　謹言

注1　俗受けするように、はったりやごまかしを取り入れたやり方のこと
注2　世界的巨大企業「グーグル」「アップル」「フェイスブック」「アマゾン」４社の略号
注3　「コロナー３」第一章参照
注4　「コロナー３」第四章参照

トランプ１

トランプ大統領よ 悪夢から目を覚ませ

一、悪夢とは「カネ・カネ・カネ」の西洋的世界観のこと

トランプ大統領！あなたは**「人生とは何か」**の正解を知っていますか。**「幸せとは何か」**の正解はどうですか。ひょっとして「人生は人間同士の金儲け競争の場」「幸せはその競争に勝てば手に入るもの」と思い込んではいませんか。

残念ながらそれは、両方とも大ウソです。いや、愚かしい「悪夢」です。あなたは物心ついて以来ずっと、このタチの悪い「悪夢」にうなされながら、幻の幸せを求めて、一度きりの貴重な人生をただ浪費し続けているだけなのです。

二、「自然」こそが「神」[注1]でありその本質は「愛」である

人間の情操[注2]に決定的な影響を与える最大の要因は「自然環境」です。円満で美しい人格は、美しい「自然環境」によって形成されるのです。

先の二つの質問の正解をお教えします。**「人生」とは、美しい自然の営み（一番は異性）を愛で楽しむ心豊かな明け暮れのことです。「幸せ」とは、そんな自然ながらの人生に自ずと備わっている絶対的安心感のことです。**

これは、美しい「自然環境」の下で生活するうちに、自ずから会得出来る「人生の二大真実」です。会得出来ないのは「自然」を誤認しているからなのです。

三、なぜ全人類が全く同じ「悪夢」を見ているのか

簡単に言えばそれは、十五世紀半ばごろから始まった大航海時代[注3]とやら以降、不自然に過剰な物欲や金銭欲に取り憑かれた――その裏には前述の通り「自然」の誤認があるのだが、紙幅がないのでその説明はまた別の機会に回す――**ヨーロッパ人たちが、強大な武力や財力を背景にしながら「カネ・カネ・カネ」の西洋的世界観すなわち「悪夢」を、世界中にバラまいたからなのです。**

ただし、そんなヨーロッパ人たちだけを責める訳にはいきません。「カネ」に弱いのは、万国万人共通のある意味人間の「業」のようなものです。今日のこの惨状は、人類全体がその責を負うべき、文字通りの「自業自得」であるのです。

四、対「地球防衛軍」戦争を甘く見るなかれ

アメリカは、過去数多くの戦争に勝利し続けてきました。しかし今回だけは無理です。百万パーセント絶対に勝てません。**対戦相手は、人類の「地球破壊」を阻止するべく「神」が出動要請した「地球防衛軍」なのです。**世界一の経済大国であるアメリカが「地球破壊」の元凶たる経済活動を止めない限り、何度でも徹底的に波状攻撃を仕掛けてきます。どんどん強力になりながらです。

がしかし、あなたは超大国アメリカの現役大統領です。いくら何でも、経済活動の即刻全面中止は非現実的過ぎるでしょう。まずは「神」に次のように誓約するのです。**『近々必ず全面中止します。そしてあなたの温情的講和条件に従い「神ノ楽園」（先の「コロナー３」参照）への帰還を開始します』**とです。

相手は「神」です。誠意は必ず通じます。あなたが愛してやまないアメリカを救う道はこれしかありません。日本国天皇と日本国民も誓って同道させます。賢明なるトランプ大統領の歴史的大英断に「神」の大いなる救いと助けあれかし！

令和二年五月八日　覚者 播磨屋助次郎　謹言

注1　「コロナー３」第一章参照
注2　高い精神活動に伴って起こる感情のこと
注3　ヨーロッパ人がアジア・アフリカ・南北アメリカ大陸へ大規模な航海を行い、現地人の存在を全く無視して新発見したとはしゃいだ現地で、略奪や搾取の限りを尽くした暗黒時代のこと

トランプ２

トランプ大統領よ「真の神」を思い出せ

一、「真の神」の本質は絶対的な「愛」

「真の神」（以降は単に「神」と表記する）が何なのかお教えします。**「神」は一言「自然エネルギー」です。**先の「コロナー３」で説明した通りにです。

「神」は、人間一人一人の心身にも作用してくれています。体へのそれは当然として、実は心にも作用してくれているのです。誰に教えられた訳でもないのに、万人が「真心」を持っている事実を不思議だと思いませんか。それが「神」の心なのです。**人間は生来「神」に見守られているのです。決して孤独な存在ではないのです。人間は誰も皆、真実幸せな「神」の愛し子であるのです。**

二、「真の神」の忘失が「悪夢」の根本原因

世界一の経済大国と呼ばれて久しいアメリカは現在、進むも地獄、退くも地獄でどうしたらよいか分からなくなってしまっているのではありませんか。

その原因をお教えします。「真の神」を忘失してしまっているからです。アメリカ人の多くはキリスト教徒です。しかし大統領、あなた自身もそうだと思いますが「God」など本気で信じてはいないでしょう。当然なのです。自然環境が、欧米とはまるで違う砂漠地帯で生まれたキリスト教は、本質的にあなたたちには不向きな宗教なのです。だから「God」が本気では信じられないのです。

欧米人は気の毒です。「真の神」を奪われ、その代わりに「カネ」を頼らざるを得なくなり、経済最優先の「悪夢」に取り憑かれてしまっているのだからです。

三、「トランプ・ナルヒト神聖同盟」締結こそ焦眉の急

トランプ大統領！新天皇ナルヒトに発破をかけてください。西洋の猿マネをして憲法がどうのこうのと逃げ回り、少しも自分で考えようとしないのです。日本人全体を奮い立たせるに十分な、ものすごいパワーがあるにもかかわらずです。

欧米社会のリーダーであるアメリカから発破をかけられれば、本来賢い人間なので、気づいてくれるはずなのです。人類が滅亡の危機に直面しているこの重大局面にあって、自分がどれだけ重要な社会的立場にあるのかという事実にです。

その上で是非とも「トランプ・ナルヒト神聖同盟」を結んで頂きたいのです。経済最優先の「悪夢」にうなされている人類を、目覚めさせ根本救済せんがためにです。もちろん「覚者」である私も、全身全霊でバックアップします。

四、「神」は自ら助くる者を助く

章題は、西洋の古いことわざです。その意味するところは――「奇跡」は努力の賜物である。奇跡を起こしたければ努力を怠るな――だと理解しています。

大統領には遠く及びませんが、私播磨屋助次郎も一応実業家です。現実の厳しさは、分かり過ぎるほどよく分かっています。**しかし、だからと言って諦めてしまえば「人類滅亡」なのです。是が非でも「奇跡」を起こさねばならないのです。大統領も私も、そして天皇ナルヒトも、もちろん人類の一員です。この期に及んで漫然と傍観しているだけでは、三者とも「人類失格」なのではないでしょうか。**

トランプ大統領！先ずは「トランプ・ナルヒト神聖同盟」締結に向けた二者会談実現を急いでください。実際行動は、その後でもよいのですから。

令和二年五月十二日　覚者 播磨屋助次郎　謹言

コロナー１

新型コロナウイルスは 人類の敵ではなく味方

一、全く無意味な「金儲け競争」を止めよう

あなたは**「人生とは何か」**の正解を知っていますか。また**「幸せとは何か」**の正解をご存じでしょうか。ひょっとして「人生は人間同士の金儲け競争の場」「幸せはその競争に勝ちさえすれば手に入るもの」と思い込んではいませんか。

残念ながらそれは、あなたの勝手な思い込みに過ぎません。両方とも真っ赤な大ウソです。**あなたは無意味この上もない「金儲け競争」に明け暮れながら、幻の幸せを求めて、一度きりの貴重な人生をただ浪費し続けているだけなのです。**

二、自然破壊・地球破壊の愚かさと哀しさ

「人生とは何か」「幸せとは何か」その正解をお教えします。

『真実の人生とは、美しい自然の営み（一番は異性）を愛で楽しみ、その深く大きな喜びを互いに交歓し合いながら、自然ともども仲むつまじく和やかに暮らしゆく、心豊かな明け暮れのことである』

『人生の真の幸せとは、そんな何の不安も心配もない、和やかで楽しい日々の暮らしゆきそのもののことである』

どうでしょうか。真実かけがえのない美しい自然を破壊しまくり、その総体である母なる地球までをも破壊し続けているのは、その恩恵なしには一秒たりとも生きては行けない我々人類自身なのです。真実の人生とも、人生の真の幸せとも、全然全く関係がない、ただただ有害無益なだけの「金儲け競争」などのためにです。

三、新型コロナウイルスは本当に人類の敵なのか

「敵だ」と誰が言い出し、誰がそう断定したのでしょう。ひょっとするとこれもまた、思慮浅薄な世間一般の勝手な思い込みに過ぎないのではないでしょうか。

工学士の末席を汚す人間の一人として、私播磨屋助次郎は、安易にそう断定するのは余りにも非科学的に過ぎるのではないかと考えるのです。**ただし「味方だ」と断定するに足る、確かな科学的根拠も持ち合わせてはいないのですが、味方なのではないかと考える方がはるかに合理的だと思うのです。**

なぜそう思うのか。その理由は、次章で説明します。

四、「地球防衛軍」の警告に従わねば人類に未来はない

「人類の未来は明るいか暗いか」あなたが今まで考えたこともない問題かも知れません。しかし、この小論文をここまで読み進めてきたあなたの頭の中では今、大きなクエスチョンマークが浮かんだり消えたりしてはいないでしょうか。

設問の答えは「真実真っ暗闇である」です。その原因はいろいろ数限りなくありますが、一番大きいのは「地球環境問題」取り分け「地球温暖化問題」です。そしてその元凶は、前述の通り我々人類の「金儲け競争」なのです。

新型コロナウイルスは、我々人類に、全くの自殺行為でしかない「地球破壊」を止めさせ、人類を含む全ての生命の楽園であるべき「地球」に、本来の平安を取り戻すべく「神」[注1]が出動要請した「地球防衛軍」なのではないでしょうか。

いえ、ウイルスそのものにそんな意図はないかも知れません。しかし我々人類の側で、今こそ、そのように考え直さねばならないのではないでしょうか。

令和二年四月十三日　覚者 播磨屋助次郎　謹言

注1　「コロナー３」第一章参照

コロナー２

新型コロナが示唆する 我ら日本人の重大使命

一、新型コロナウイルスの災禍が格段に小さい日本

新型コロナウイルスによる国別の感染者数と死者数が、連日のように報道され続けています。**それを見比べながら非常に不思議に思うのは、欧米各国の死者数に比べて日本のそれが、百分の一オーダーと二ケタも少ないことです。**

この小論文では、その理由を、科学的考察だけではなくスピリチュアル[注1]的考察も交えながら、出来るだけ合理的に解き明かして行きたいと思います。

二、西洋的世界観と日本的世界観

私播磨屋助次郎は、先の小論文「コロナー１」で、人類相互の「金儲け競争」の無意味さと、それによって引き起こされている「地球破壊」の愚かさと哀しさを鋭意力説しました。そしてそれを読んだ日本人同胞らの心中に、大きなクエスチョンマークを浮き上がらせることが出来たはずと確信しています。

何に対するクエスチョンマークか。現代の人類文明の根幹である「経済最優先」という価値観に対する、大きな大きなクエスチョンマークをです。

実は、そのおぞましい価値観をでっち上げた元凶こそが、不自然反自然なカネ・カネ・カネとエゴ丸出しの「西洋的世界観」なのです。そしてまたその対極にあるのが、親自然で真心（他者愛）重視の「日本的世界観」であるのです。

故に新型コロナウイルスが、私播磨屋助次郎の直感通り「地球防衛軍」であるなら、西洋諸国に厳しく日本に寛容なのは理の当然であるのです。

三、我ら日本人の重大使命

日本の単位人口当たりの死者数が、驚くべきことに欧米諸国の百分の一オーダーなのです。なぜなのか。その原因特定には、科学的・唯物的考察のみならず、これまで余り一般的ではなかった、スピリチュアル的考察が是非とも必要です。

私播磨屋助次郎は、この星「地球」を、生きとし生きる全ての生命を愛育してくれる、意思も心もある母なる「高次元生命体」であると確信しています。そしてそれ故にこそ、全人類の中で飛び抜けてその親心の有り難さを知っている我々日本人に、大きな期待を寄せてくれているはずだと直感して止まないのです。

皆さん！母なる「地球」の熱い期待に応えようではありませんか！我々日本人が率先して「金儲け競争」を中止し、人類全体の「自然回帰」の先導役を務めようではありませんか！そして、どんどん強力になって行くばかりの「地球防衛軍」と恒久的に和睦し、絶対的に安心安全な人間社会を実現しようではありませんか！

四、若者たちが大活躍する日本の近未来図

経済活動の必要性がなくなった日本が、何はさて置きいの一番に取り組まねばならないのは、食糧自給態勢の確立です。現下の食糧自給率は、たったの三十七％しかないのです。このままでは、国の存続自体が危ういのです。具体的には「国民総帰農[注2]」の推進です。国を挙げて喜び勇んで、食糧の大増産に取り組むのです。

近未来の日本は、生命エネルギー満ちあふれる若者たちが大地に鍬を振り、みんな笑顔でそれに協力する、人間社会本来の自然な姿に立ち返るのです。その実際は次の救世論文「コロナー３」で説明します。どうぞお楽しみに！

令和二年四月十三日　覚者 播磨屋助次郎　謹言

注1　観念的・精神的の意
注2　辞職し郷里に帰って農業をすること

コロナー３

新型コロナウイルスは 神の使いかも知れない

一、「神」は実在し人間の心身もコントロールしている

この世（自然界全体）は、無限のミクロから無限のマクロへ有機的につながりつつ広がる一大生命体です。この事実は、自分自身が無数の細胞の集合体であり、その細胞一つ一つがまた、無数の原子や分子の集合体であることを科学的によく知っている我々現代人には、自明の理であるはずです。

実は、その全てをコントロールしている「自然エネルギー」もしくは「生命エネルギー」こそが「神」なのです。「仏」と呼んでも一向にかまいません。

「神」は当然、人間一人一人の心身も不断にコントロールしてくれています。今回の新型コロナウイルス騒ぎが、一気に全人類レベルまで急拡大したのは、何らかの「神通信」が一斉送信されたからではないかと「覚者」は考えています。

二、「神」は「不自然」が大きらい

前述の通り「神」は自然エネルギーです。「自然」を推進し「不自然」を自然に返すべく、不断に作用し続けています。そしてその作用は絶対なのです。いかなる「不自然」も、永遠には存続させてもらえないのです。

ひるがえって、我々人類はどうでしょう。**必死になって取り組み続けている「経済活動」はもちろん、その結果生まれたありとあらゆる文物全て、不自然でないものなどほとんどないのではないでしょうか。**全ては「自然」に返されねばならないことばかりではないのでしょうか。どれほど哀しく残念でもです。

三、「地球破壊」を非常停止させた新型コロナウイルス

あなたは「地球温暖化」が臨界点[注1]に近づきつつあったことをご存じですか。もしも新型コロナウイルスが出現せず「金儲け競争」があのままエスカレートし続けていたら、それこそ取り返しがつかない事態を招いてしまっていたはずなのです。

「覚者」[注2]として断言します。新型コロナウイルスは、間違いなく「神」の使いです。全くの自殺行為でしかない「地球破壊」に、明確にストップをかけてくれたのです。冷静に考え直すチャンスと時間を与えてくれたのです。

従って、経済活動完全復活などもっての外なのです。もしやれば今度こそ「神」自らの大鉄槌が振り下ろされ、人類は絶滅せざるを得なくなるでしょう。「地球」を救うために、我々人類は切り捨てられるのです。くわばら。くわばら。

四、「神ノ楽園」への聖なるUターンを急ごう

「神ノ楽園」とは、一言で言えばお金のない世の中のことです。「金儲け競争」をしなくてもよい、自然そのままのシンプルな社会のことです。

当然ながらそこには「富者と貧者」「勝者と敗者」「強者と弱者」等々、現行社会に数限りなくある不平等概念そのものが一切ありません。そこにあるのは絶対的安心と絶対的幸福の二つだけです。だからこそ「神ノ楽園」なのです。

日本は世界で一番最近まで「神ノ楽園」だった国です。故に人類の自然回帰の先導国たれと、ウイルス禍を小さく抑えてもらえているのかも知れないのです。

皆さん！少々頼りないですが令和の新天皇を中心にして、国民全てが一つにまとまり、和ノ国日本の原点「神ノ楽園」へのUターンを急ごうではありませんか！

令和二年四月二十日　覚者 播磨屋助次郎　謹言

注1　これ以上変化すると元の状態に戻れなくなる上限のこと
注2　神意を解する特別な人間のこと